

# 「ガザ戦争の実態と 医療奉仕団の役割、 そして私たちができること」

参加費  
無料

イスラエルによるガザへの攻撃では、すでに子どもたち 1 万人を含む 4 万人以上が亡くなり、約 500 人の教師が犠牲になっています。北海道パレスチナ医療奉仕団は 2010 年に結成され、今年 11 月末からは第 16 次のパレスチナへ派遣をいたします。様々な制約のなかで難民キャンプなどでの診療、リハビリ、無料検診などの医療活動と子ども支援活動でスポーツや絵画などの活動での交流活動を計画しています。今までの活動の経験にもとづき、パレスチナ・ガザの現状と医療奉仕団の役割、また私たちひとりひとりがこのジェノサイドをどうしたら止めることができるか、についてお話をします。

と き

2024 年 **11/18**(月)  
14時～16時(開場 13時30分～)

申込締切日

**11/8(金) 16時**

と ころ

ホテルポールスター札幌 2階「メヌエット」  
札幌市中央区北 4 条西 6 丁目



● 講 師

「北海道パレスチナ医療奉仕団」団長・医師  
**猫塚 義夫 氏**

1973 年 札幌医大卒業 北海道勤労者医療協会に入職  
米国留学を含め整形外科医として診療と臨床研究をすすめる。  
医療 9 条の会・北海道(共同代表)として平和といのちを守る活動に努め  
2010 年に北海道パレスチナ医療奉仕団を立ち上げ、現在に至る。

● 定 員 **100** 名

● 参加の申込方法

携帯電話またはスマートフォンから、右に表示されている二次元コードを読み取ってください。読み取り後、専用ページが開きますので、必要事項(お名前、フリガナ、メールアドレス、電話番号など)をご登録いただいた後、メールアドレスには、当日の受付番号および今後の手続きに関する詳細をお送りします。ご確認の上、手続きを進めていただきますようよろしくお願いいたします。  
二次元コードを読み取れない場合は、[コープさっぽろ社会福祉基金](#) のホームページからも申込できます。

申込みは  
こちらから



主催：公益財団法人 コープさっぽろ社会福祉基金

後援：札幌市教育委員会、北海道生活協同組合連合会、北海道奨学金ネットワーク

お問合せ先



公益財団法人  
**コープさっぽろ社会福祉基金**

〒063-0831 札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10-1  
電話 011-671-5719(平日 月・火・木 午前10時～午後4時) FAX 011-671-5741  
Eメール: csap.fukushikikin@sapporo.coop